



精進



R3.2.26

自分の譲れないもの、基準となる芯を持つ



3年生はいよいよ卒業式が間近に迫ってきました。4月から始まる新しい生活に対する期待と不安が交差していることと思います。まずは、3月1日の卒業式をそれぞれの心に残る素晴らしいものにしましょう。1,2年生の皆さんは、コロナ禍の関係で出席は叶いませんが心で祝して感じてください。さて3学期は新年度に向けた0学期とも言われますが、あと1ヶ月足らずで令和3年度になります。1年生は2年生となって中核を成す学年となり、2年生は3年生となっていよいよ進路を実現する学年となります。鹿工の新しい歴史のページを彩ることになります。そのような時期なので、今回は「論語」の中から心に留めておいて欲しい言葉をいくつか紹介します。「論語」とは、およそ今から2,500年前、中国の思想家「孔子」の言葉を中心にその弟子達がまとめた書物です。主に人としての生き方、道徳について書かれています。また、今年のNHK大河ドラマ「青天を衝け」は渋沢栄一（日本資本主義の父、2024年から1万円札の肖像）の生涯を描いた内容です。渋沢栄一の代表的な著書「論語と算盤（そろばん）」は、自分の利益追求ばかりではなく、ものの見方・考え方を中心に、人の道（論語）と商売の両立の大切さを軸に書かれた本です。この機会に、是非手にとって読んでみてください。これからのよい参考書になると思います。ここではそれぞれの内容を簡略的に紹介しますので、これからの生活の参考にしてください。

子、四つを以て教う（論語）



「し、よつをもっておしう」と読みますが、心の持ち方としてまずは、四つのことを大事にしなさいということです。一つは文（学問）、二つは行（実践）、三つには忠（誠実）、そして四つには信（信義）です。君たちに例えていうと、これからも怠らずに学び、得た知識や技術を誤魔化すことなく誠心誠意取り組み、実践していく。という意味になると思います。3年生は、これから様々な出来事があると思いますが、この考え方を取り入れ、鹿工魂で頑張ってください！



「過ちで改めざる 是れを過ちと謂う」

間違っている、反省せず直さない
これこそ過ち（間違い）という。（論語）



「己の欲せざる所 他人に施すことなかれ」

自分がされたら嫌なこと、して欲しくないことを
他人にしてはならない。（論語）



学問と社会との関係を考察すべき例を挙げると、あたかも地図を見る時と実地を歩行するときのものである。



（論語と算盤）

実際と比較してみると、予想外のことが多い。また現地に踏み出してみると、茫漠として大いに迷ったり、道路が迂回して容易に進まれぬこともある。



（論語と算盤）

大局を観る目をもつ。
社会での出来事や意外なことを想定して、前もって学習する。通常より謙虚に学ぶ姿勢を維持し、誠意を持って実践する。

志



人の道 すなわち道徳。

人として歩まなければならない道と、踏み外してはならない道。何事も道徳を真っ向から掲げ、すなわち道徳を武器にして生きるべき。（論語と算盤）〈いいかげんなことをしない〉

潮流や世論をそのまま鵜呑みにしない。潮流と世論の底にヒタヒタと静かな音を立てて流れている地下水脈を観る。それはあくまでも底の方でひっそりと流れている。が、絶対に妥協はしない。自分なりの原則を持って流れ続ける。「情操をもって道理を踏み通す。」形勢を観望して気長に時期の到来を待つと謂うことも決して忘れてはならぬ心掛け。〈根っこをしっかりと見て焦るな！ よく考えて誠意を込めて実行！〉（論語と算盤）

祝

3年生のみなさん、卒業おめでとう！ 「鹿児島工業 学生我ら♪」



体に気をつけて、元気に頑張ってください。そしてたまには元気な姿を母校に見せに来てください。